

だい しょう
第1章

しゅう すけ し うし み りょく
周助だけが知っている牛の魅力



くすべ けいこく おじろくくすべ
久須部溪谷 (小代区久須部)

くすべ しゅうらく たじま うし いえ なか か とき
久須部集落には、但馬牛を家の中で飼っていた時の
名残のある家々が残っている。

しゅうすけ ちい とき うし だいす うし いちばん
周助は、小さい時からとにかく牛が大好きで、牛が一番の
ともだち ひくろ やま かえ
友達でした。ある日、暗くなくても山から帰ってこないの
かあ さが い うし なか まくら ね
お母さんが探しに行ってみると、牛のお腹を枕に寝ていた
そうです。





周助の家は
この辺りでは
広い田畑と山林を持つ
裕福な農家だったが

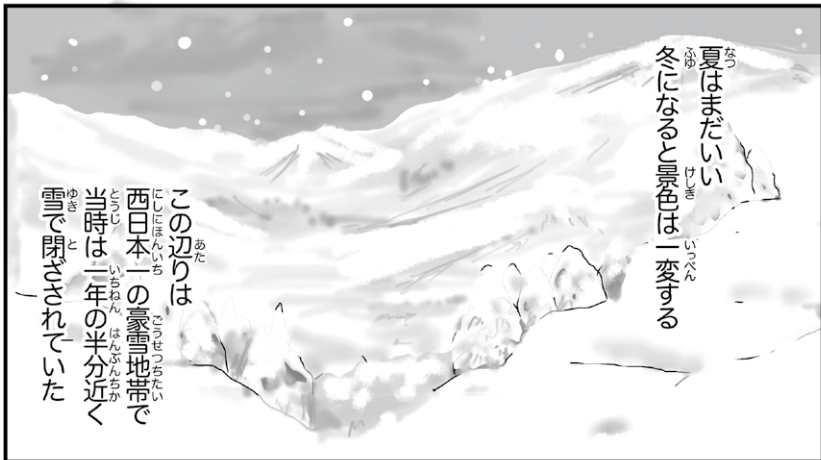
あぜや斜面の草刈り

小さな田んぼは
手間ばかりかかり
収穫量はなかなか
増えない

あぜ塗り



忙しく働いても
暮らしては慎ましい
ものだった



夏はまだいい
冬になると景色は一変する

この辺りは
西日本一の豪雪地帯で
当時は二年の半分近く
雪で閉ざされていた



周助 15歳



深い山々に囲まれて
田んぼといえは
小さな棚田ばかりである



周助の住む小代谷は
兵庫県と鳥取県の国境にある



春

周助〜!

おい、周助はどこだ?

すみません
朝から見当
たりませ
んだが

田んぼの草取りを
手伝ってもらわあと
思っと思ったのに



牛のことは
教えんでも
覚えますのにな



そろそろ
牛に呆けたらんと
田んぼのことも
覚えてもらわんと



牛なんてもんは
田んぼの肥料になる
マヤゴエと田を耕すことが
できりやそれでええ

生まれた子なんて
たいして金にならん
ほどほどでええ

そうですね
帰ってきたら
田んぼを手伝うよう
話してみましよう



も〜



屋根の雪を下ろすと
玄関が埋もれるほどに
なるこの地方では

うわ〜!
よう降ったなあ!



おうよしよし
ええ子だ
おみや〜ら〜も
温ったきや〜もんが
うみや〜でな

牛は人と同じように
大切な家族の二員として
暮らしていた

す〜干し草も
炊いてやるでな



どの家も玄関のすべ横に
牛小屋(まや)
があった
おはよ 水が冷ちやくな
今 温ったためたるでな



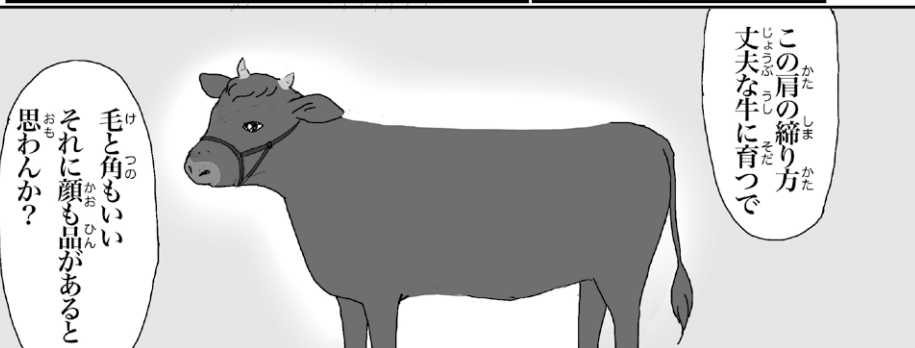
周助、牛に
大根葉炊いたの
持つて行ったって

そしてこの夜
事件がおこる



買ってきた？
どういふことだ？

おやじ
まあ、見てみいな
このオナメ
ええと思わんか？



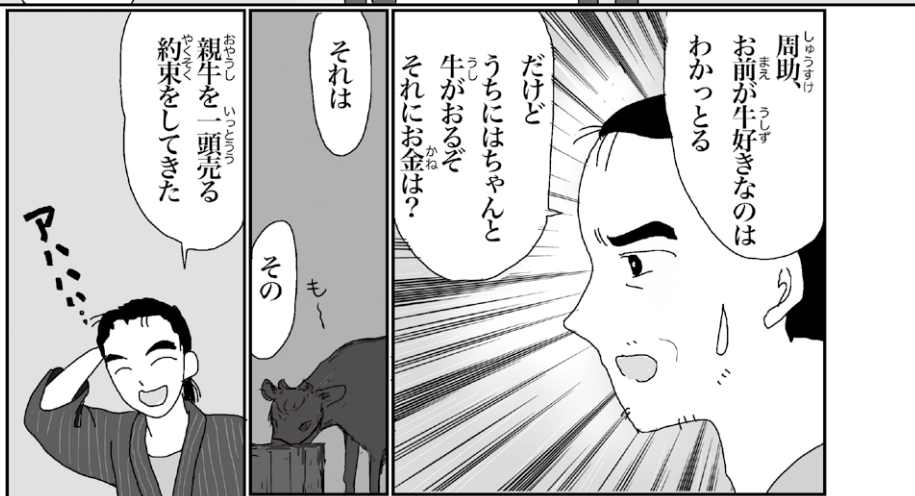
この肩の縮り方
丈夫な牛に育つで

毛と角もいい
それに顔も品があると
思わんか？



周助
帰つとるんか？

遅なつてごめん
今帰つたところ

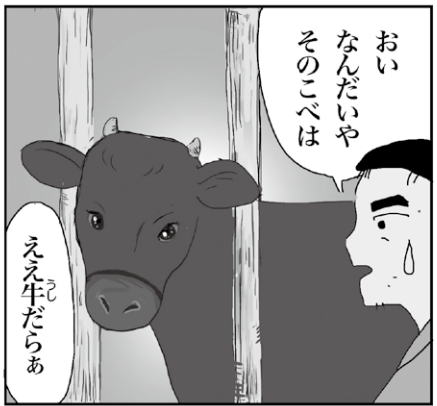


周助
お前が牛好きなのは
わかつとる

ただ
うちにはちやんと
牛がおるぞ
それにお金は？

それは

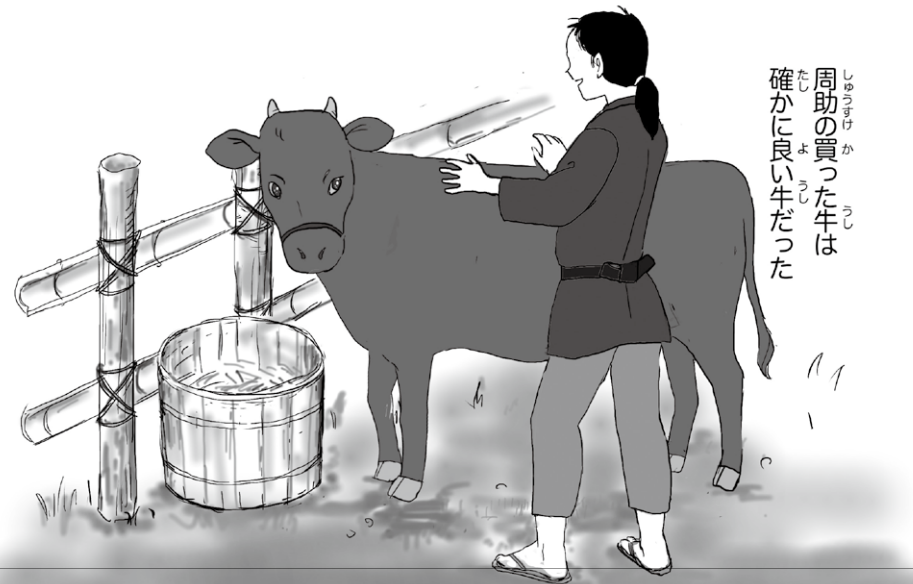
親牛を二頭売ると
約束をしてきた

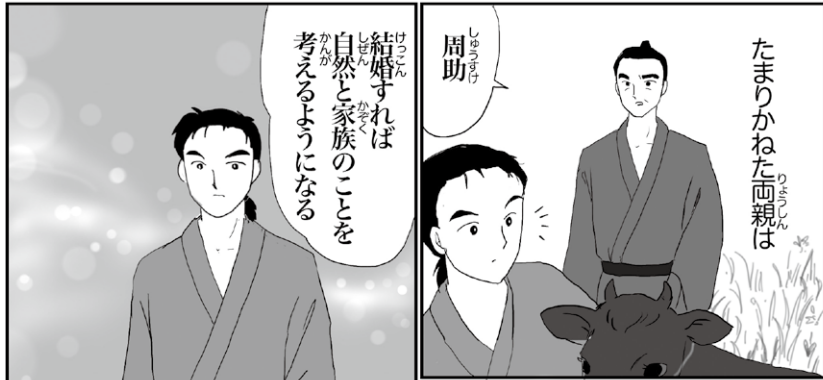


おい
なんだいや
そのこべは

ええ牛だらあ

秋岡から
買ってきた





結婚すれば
自然と家族のことを
考えるようになる

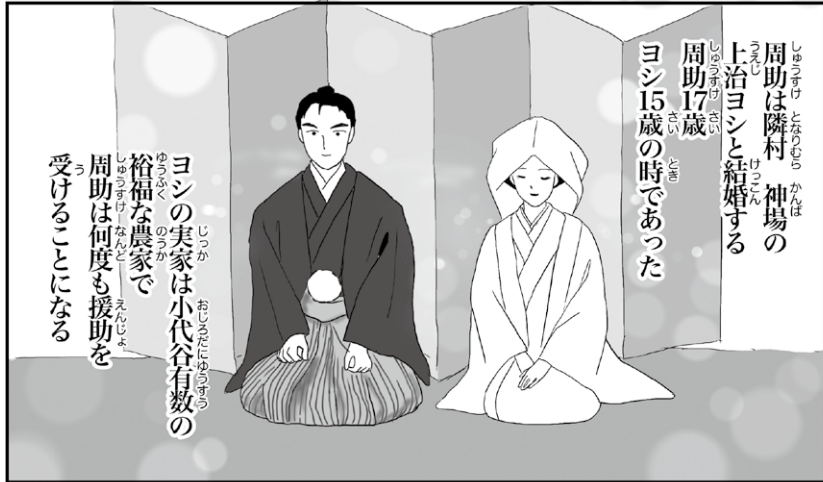
周助

たまりかねた両親は

牛以外に
大事なものが増えれば
自然と人として
成長するってものだ

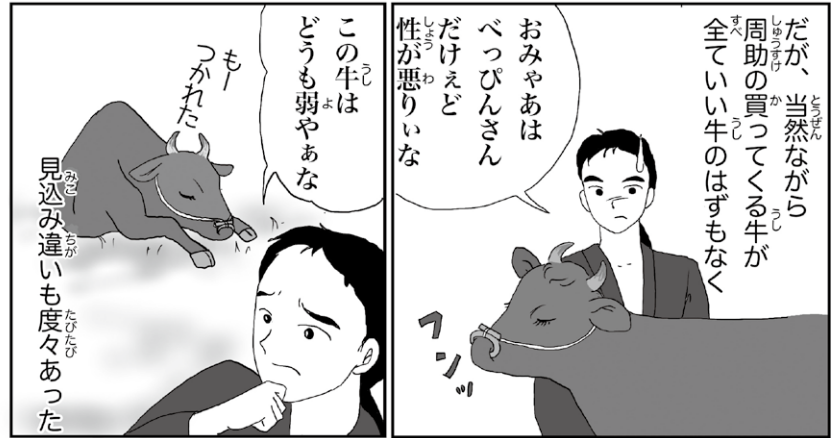


お前そろそろ
結婚を考えたら
どうだ？



周助は隣村 神場の
上治ヨシと結婚する
周助17歳
ヨシ15歳の時であった

ヨシの実家は小代谷有数の
裕福な農家で
周助は何度も援助を
受けることになる



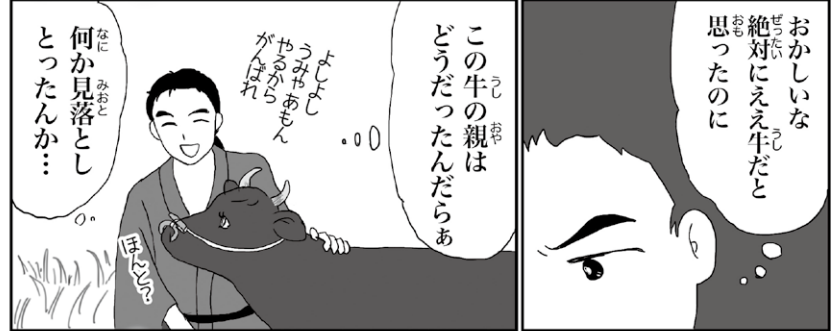
だが、当然ながら
周助の買ってくる牛が
全ていい牛のはずもなく

おみやあは
べっぴんさん
だけえど
性が悪いいな

この牛は
どうも弱やあな

もー
つかれた

見込み違いも度々あった



おかしいな
絶対にええ牛だと
思ったのに

この牛の親は
どうだったんだらあ

よしよし
わるから
がんばれ

何か見落とし
とったんか…



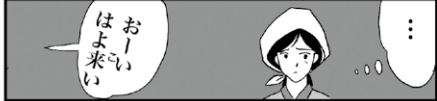
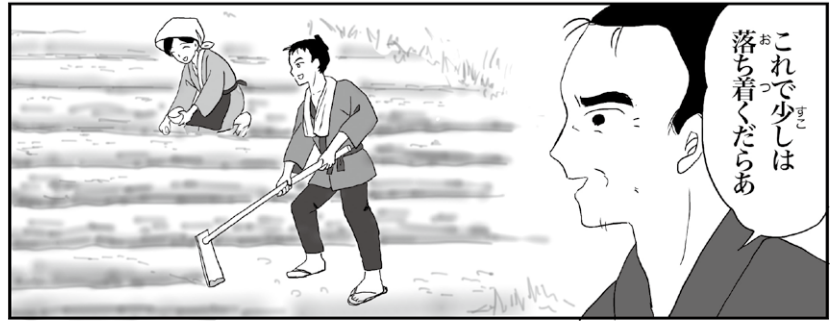
だめだ！
もっとようけ
牛を見て勉強せんと

失敗しても

周助の牛への想いは
強くなっていくばかりだった

周助！
牛はもういらん！
ええ加減にせい！

もっと！
もっと！



お前は
前田家を潰す気か！

今日ていつ今日も
許さんぞ！



金にもならん
牛を贈やして
一体何になるんだ！

仕事しとるだど？
牛のことしか
しとらんくせに！

まあまあ
お義父さん

私が周助さんと
話します
今日のところは
勘弁してあげて
ください

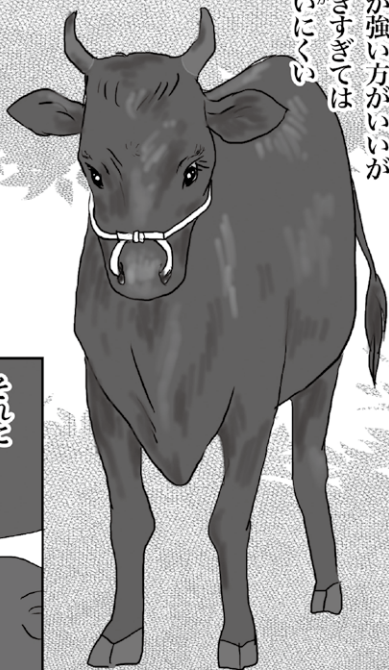


なあ
ヨシ
牛つて
本当に不思議な
生き物だとは
思わんか

牛の基本は
親父が言う通り
健康なことだ

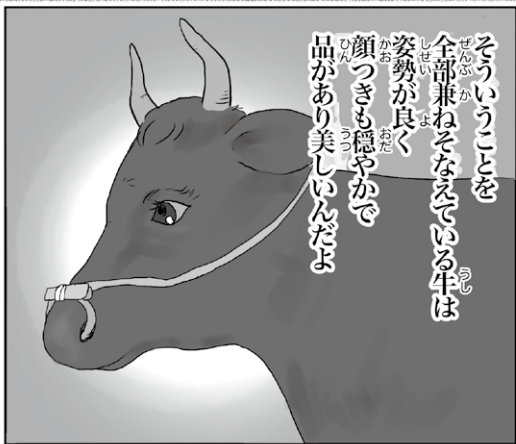


牛の仕事は
田畑を耕すことだ
力が強い方がいいが
大きすぎるとは
扱いにくい



性格も大事だ
気性の荒い牛は困る

牛を選ぶ時には
ます肩を見る
肩が広がりすぎる牛は
大きくなるにつれて
姿勢が崩れて足が弱くなる
それで長持ちせん



そういうことを
全部兼ねそなえている牛は
姿勢が良く
顔つきも穏やかで
品があり美しいんだよ

確かに牛は
金にはならん
だけど
なぜだかわしは
究極の牛を
自分の手で生ませて
みたいんだ



それに
乳がよく出て
子育てが上手な
牛がいい



究極の牛
ですか



究極の牛を
生ませたいのは
道楽かもしれん



ただ
ええ牛が増えることは
小代谷にとつて
ええことのはずだ

小代谷は
山ばかりだ
特にこの猪之谷村は
山の上にある



丈夫な牛でなければ
役に立たん



そういうことだ
ええ牛が増えれば
みんなが
楽になるんだ

そうですね
力が強くて
穏やかな牛は
助かりますね

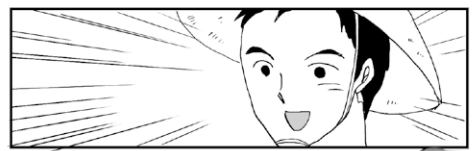


道楽かと思つたけど
小代谷全体のこと
もかんが
考えているのね

私も牛は好きです
気持ちばかりです



究極の牛が道楽だと
わかっていいるなら
しっかり働いて
ください



ああ
わかつとる!

周助はヨシの理解を得て
ますます牛の改良に
力を入れることになる



第2章

牛の本当の価値



ひがしがき だいにちどう おしるく ひがしがき
東垣の大日堂 (小代区東垣)

牛の守り神である大日如来をまつているお堂。
毎年1月28日にはお祭りがあり、畜産農家はここで
お札をいただき、牛の安産と健康を祈ります。
近年は畜産農家だけでなく、牛肉の販売業者もお札を
いただきに来られるそうです。

ねん むかし えが こくぎゅうじゅうづ たじま うし すく
700年も昔に描かれた『国牛十図』にも、但馬牛が優れて
いることが、次のように紹介されています。

但馬牛

ほねほそく 穴かたく
かはうすく 腰背まろし
つの蹄ことにかたく
はなのあなひろし
逸物おほし

〈現代語訳〉

但馬牛は骨が細くて
筋肉が締まっており
皮は薄く 仙骨や腰骨などが
突出することはなく
角や蹄は非常に堅く
鼻の穴は大きい特徴があり
資質品位に優れた
優秀な牛が多い



『国牛十図』河東牧童寧直磨筆
(鎌倉時代末期)